

山行報告 浅草岳 山スキー

【山域】越後山脈 【日程と天気】2016年4月2日（土） 晴れ

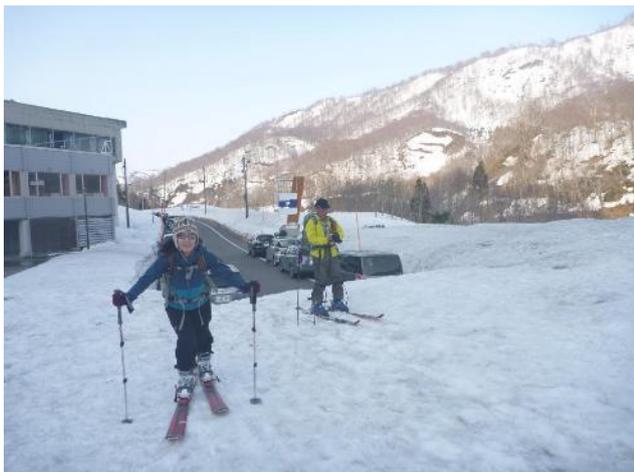
【メンバー】CL 吉川 SL 柘植 庭田（記）

【行程】大自然館（7:10）～11:20 夏道迂回ポイント(1484)- 嘉平与ボッチ--11:50 前岳
（1568）---12:00 浅草岳（12:00-12:30）～大自然館（14:50）

累計高度(+) 1,132m 累計高度(-) 1,136m

【内容】

浅草岳登山口の大自然館には既に 10 台程度の車が停車されている。最近は、道も良くなり日帰り登山者が増えたようだ。我々の後からも続々と車が来る。さすがに週末のため多くの入山者がいるようだ。



ルートにはしっかり赤テープがあり、つぼ足やスキーのトレースもあるので迷うポイントはなかった。

本日も晴天なり。で、どこまでも続く山脈の景色を楽しめた。飯豊連峰に八海山あたりが見えていたようだ。さすがベテランのお二人は山に詳しい！鬼が面山登った事あるよ～、あそこの尾根縦走したよ～など、いろいろ教えて頂く。新潟って山多いな～と、感心しながら登って行く。そんなお二人も山が見えすぎて混乱している場面もあった。嘉平与ボッチの手前で亀裂箇所トラバースを避けるため、板をかついで夏道を迂回した。他のスキーヤーはトラバースしていたが、我々は登りも下りも安全な迂回ルートを選択した。



ガリガリのイメージの前岳もザラメ雪でさっくりと通過できた。山頂には10名ぐらいの登山者がいた。山頂で記念撮影。本日のミッション、ナタは回収できるのか？吉川さんが山頂付近を探しに行く。

「あったよ～！」高々とナタを振り上げてガッツポーズ。多くの登山者が入山していたので我々も諦めモードだった。ちょっと目立たない場所に置いてあったのがよかったようだ。



鞘を抜いてみると、立派な切れ味鋭そうなナタが出てきた。地元の鍛冶屋さんで作ってもらったと言っていた。30分ぐらい休憩して、いよいよ滑走。山頂にいるスキーヤーたちは、各々お目当てのルートに向かって滑っていく。山脈に向かって落ちるように滑って行く柘植さんと吉川さん、かっこいい！
広大な景色に吸い込まれるように滑って行くのは気持ちよかった。それにしても快適に滑れる。シャーという春スキーの音が心地よく響く。登りで心配された藪も、下りでは思ったより気にならず一か所だけ嫌らしい場所があったただだった。あつとう間に林道まで到着。ほっとしたところで一休み。この時点で持っていた1.5Lの水はもうなくなっていた。一気に林道を下り、大自然館に無事到着。
さて、音松荘にナタを届けに行く。おかみさんも旦那さんも大喜びしてくれた。お二人とも諦めていた様子。お礼にと、音松荘の一番風呂を頂いて帰る。帰路では只見線の2両車両と並走。1日4便しかないローカル電車である。のどかな風景の中をゆっくり走る電車を見て乗車してみたくなった。帰りの高速は土曜日なのに渋滞なし。市川に20:30ごろ到着した。冒険好きのベテランお二人と同行出来て、とても貴重な経験をさせて頂きました。来年も冒険にご一緒させて下さい。

